

# アカゲラ通信



## 野鳥観察「あるある！」

きっと皆さんも・・・野鳥観察「あるある！」を集めてみました。

●シマエナガを追っていたつもりがハシブトガラだった：両種はなぜか一緒にいることが多く、しかも下から見ると全体的に白く見えるのも似ているため、このようなことがよく起こります。

●キクイタダキを追っていたつもりがヒガラだった：上と同様で、どちらも針葉樹にいて鳴き声も似ているため、これもあるあります。

●観察位置を変えると分からなくなる：枝かぶりを避けるために動くとその野鳥を見失うことがあります。その野鳥のいる枝などが角度によって形が違って見えることや、手前の木などとの位置関係が変わることによって起こります。複数人でいる場合、1人は動かず見続けて別の人気が動いて探すのもひとつの手です。

●双眼鏡やカメラを出していない時に野鳥は出る：観察地に着いて双眼鏡を出す前や、帰る時にしまった後にお目当ての野鳥や珍しい野鳥を見つけることもあるあります。カメラ撮影でも同じこと。観察地を完全に離れるまでしまわないようにした方がいいでしょう。

また、観察地への行き帰りにも野鳥が出ることがあるため、移動時には双眼鏡を出しておくといいかもしれません（もちろん安全運転で）。

●何も期待していない時に野鳥は出る：今日はシマエナガを撮るぞと意気込んでなかなか出ないものです（出ることもありますが）。

一方で、今日は何が出るかなと特に期待せずにいると、案外、お目当ての野鳥や珍しい野鳥が出る、もしくはお目当ては見られなくても別の野鳥で大満足、ということもあります。

●晴れているからといって野鳥が多いわけではない：野鳥は晴れた日が続いた日にはあまり活発ではなくなる傾向があります。晴れていると餌を探りやすくなり、あまり動かなくなることが要因です。

●雨の日は鳥が出る：風がなければ、多少の雨の日であれば野鳥は普通に出ます。雨の日は観察者が少ないのもよい点かもしれません。ただ、雨の日はカメラを出すのが億劫になりますが。

◎こんな人「いるいる」：●いろいろ語る人 ●写真を見せたがる人

●他の場所の方が野鳥が多いよと話す人 ●その場を仕切る「ヌシ」と呼ばれる人（場所により）

●誰それがあるいは自分が来ると野鳥がたくさん出るよという人：野鳥観察は「運」です。

ほかにも、各人それぞれの「あるある」もあるのではないかと。野鳥観察を楽しみましょう！

## レストハウス「ぽるく」今年度営業は11月9日(日)まで 10時～17時

旭山記念公園レストハウス【ぽるく】です。

晩秋の旭山記念公園、周りの山々が赤や黄色に染まっています。  
もうすぐ雪の季節がやってきます。

10月19日にレストハウスぽるくのスタッフによる、第2回  
サックス演奏会がありました。また来春の桜の咲く頃に開催し  
たいと思っています。

レストハウスぽるくは11月9日で今年の営業を終了します。来春、2026年4月から営業開始予定です。来年もまたどうぞよろしくお願ひします。



## 旭山野鳥メモ 74 クロジ

クロジ Grey Bunting *Emberiza variabilis* スズメ目ホオジロ科

北海道で夏鳥。旭山では例年春と秋に数日間見られるが、今年の秋は9月上旬に現れ、10月に入っても見られていた。全道的にも多かったようだがこれは過去にあまり例がない。春の旭山は通常通り見られた。

人里離れた山地で繁殖。笹藪で暮らし姿を見る機会は少ない。雄の囁り「ホイーツイツイツイ」の「ホイー」が他に似た音を出す野鳥がおらず声での識別は容易。地鳴きは「ツツ」、アオジより声が細くて鋭い感じ。

旭山では通常囁りは聞かれないがかつて1度だけ7月に旭山都市環境林で囁りが聞かれたことがある。藻岩山中腹駅付近でも夏の間に囁りが聞かれることがある。近場ではオコタンペ湖周辺で繁殖している。

黒というよりは英名のように灰色、雄(写真上)は似たような色合いの野鳥がないため識別しやすい。一方雌(写真下)はホオジロ科の雌に共通の悩みで識別が難しいがアオジのような黄色みがないのがポイント。

今年の秋は多く見られたが、ひとまず来年の春はどれくらい見られるか、そして秋はどうか、今秋のことを覚えておきつつ注目してみたい。



## 2025年11月の野鳥トピックス

- シマエナガ：見られる頻度が高くなってきました
- エゾライチョウ：10/27 公園内で初めて観察されました（右写真）
- アオバト：10/24 に3羽、10/25 に1羽が現れました
- ツグミ：10/7 この秋初認、最初は上空だけでしたが10月下旬から地面に降りて採餌する姿が見られるようになりました
- マミチャジナイ：10月下旬からちらほらとみられています
- マヒワ、ウソ：園内で時々出ていますが少ないです
- シメ：「シーッ」という鳴き声を聞く機会は少なくないです
- ヒレンジャク：今秋何度か記録がありますがまだ少ないです
- クマゲラ：週に3、4回園内で近くで見られており、鳴き声はほぼ毎日聞くことができます
- ヤマゲラ：時々見られています ●カケス：よく目に留まり「ジェイ」という鳴き声もよく聞きます



## 旭山記念公園の紅葉ダイジェスト2025年

2025年の紅葉、エゾヤマザクラは例年より赤みが強く、また例年より遅く10月下旬まで葉をつけていました。ヤマモミジとハウチワカエデの紅葉は赤みが強いものもある一方オレンジ色のものが多く、それはそれできれいで、赤い葉との、さらには初期段階ではそれに緑色の葉が加わったコントラストは見ごたえがありました。全体的に色づき始めが遅く、この号が出る段階ではピークは過ぎたもののまだ見頃といえる状態でした。今年の紅葉ダイジェストとして、写真を3枚ほどピックアップしました。

(写真は3枚とも2025年10月27日撮影)

